宮城県塩釜高等学校
同窓会会報

第 16 号
編集・発行
宮城県塩釜高等学校同窓会
〒985-0056　塩釜市泉ヶ岡10－1
電　話　022（362）1011
FAX　022（362）0703
責任者　菊　地　忠　夫
印　刷　プリンティングサトー

同窓会を振り返って感謝！

塩釜高等学校同窓会
会長　菊地忠夫（17回生）

母校とは、その名の通り母と似て、同じようにありがたい。この融が岡の学び舎で青春時代の三年間、先生方や級友と共に、笑顔があり、時に悩み、時に涙を流して壁を乗り越えた経験は、貴重な人生の宝物になったと感謝している。

■同窓会活動に参加

昭和40年卒業以来、いつか何かの形で母校への恩返しができたらと思って、家業に従事していた。昭和62年、旧塩釜高校同窓会五代目会長の小玉久雄さん（1回生）から「今度ホテルグランドパレス塩釜で同窓会を行うから」と誘われて、親友の同級生と参加したのが始まりでした。

今回は、私と同総会活動を振り返ります。その当時の事務局の先生は、私の高校一年生時の担任の伊藤希久夫先生（4回生）で、同じく三升敬先生で、恩師と教え子と共に、先輩・後輩としてお世話になり、同窓会の理事になり38年になりました。

まもなく小玉久雄会長から、平成2年6月に、六代目の志野作寿会長（2回生）になられました。志野会長の会報の挨拶に「雄志会館建設に向けてと創立50周年記念事業に向けて」と、記念事業と建設計画が進んでおりました。その後平成10年の会報には「雄志会館建設完成と創立50周年の落成記念式典が終了した」とありました。

七代目の土井萬平会長（5回生）は、平成22年の会報には「平成22年に再編統合による男女共学化された年に新生塩釜高校に入学された皆さんは、三年間の高校生活では東日本大震災という大変な経験をされました。復興支援活動に参加し、被災者に勇気と感動を与えました。」と各号に各会長の挨拶がありますが、誌面の都合で省略を致します。

■会報編集委員について

これらの会報を作成するのは同窓会の会報編集委員会があります。私は平成2年に編集委員になりました。当時の委員には小川澄夫委員長（4回生）をはじめ、丹治寿太郎さん（2回生）、亀山繁さん（11回生）、奥田準一さん（19回生）が活躍、平成12年からは佐藤政栄門さん（17回生）が加わった。編集委員会は小川さん宅で行われ、写真や記事集め、タイトルを決めたり、誌面の割り付け、原稿の読み合わせ、誤字脱字を調べ、それらを確認後印刷となる。

委員長の小川さんを中心に話合い、和気藹々いつも楽しく仕事ができて、良い思い出の委員会でした。平成19年から新しい編集委員に交替しました。

■東京同窓会について

東京同窓会も母校の統合に合わせて旧男子高と女子校の同窓会も平成22年10月に統合されており、毎年の定時総会には、歴代の校長先生、同窓会会長も出席されていました。

私も会長として平成28年10月の総会に小野久子副会長（20回生）、学校からは4月に着任された竹内透校長先生、以前より何度もご出席されていた真壁道鑑さん（4回生）と共に出席しました。

会場は東京新橋駅近くの第一ホテルで、受付には松倉恵子さん（9回生）、小玉雅之さん（13回生）、事務局の木村謙さん（18回生）等がおられ、歓迎して頂いた。総会は森邦夫会長（6回生）の挨拶のあと、校長先生、そして私の挨拶を終えて、和やかに乾杯！しばし歓談のあと、出身中学校同士でテーブルを囲むよう司会者より話があり、指定の席に着くと自己紹介、恩師や部活動の話など語り合い、タイムスリップして大いに盛り上がった。歓談後、男子高・女子校の校歌を歌い合い、拍手喝采の中、再会を約束して散会となりました。

その後、令和二年のコロナ禍の為、残念ながら総会は休止となっています。

■十周年記念事業について

令和2年10月27日に、東京エレクトロンホール宮城で実施する、記念式典・記念講演を行う予定で、平成30年9月より、先生方、PTA役員、同窓会理事が委員会で準備して、いよいよ式典開催を待つだけとなりました。

ところが、コロナ禍のため中止となり、準備した記念品等は在校生の皆様の各クラスごとに配布されたが、開催できずに残念でした。

■塩校祭に参加して

毎年9月初旬に開催される塩校祭に同窓会も参加している。コンビニを経営されている鈴木和雄副会長（18回生）のご協力でホットドッグ等を販売しています。プロの味なので販売開始1時間程で売り切れてしまいます。

買ってくれた生徒さんには前途を祝福して、理事の森長一郎さん（25回生）の音頭で、出席している理事全員で手拍子で激励するという、賑やかな塩校祭に参加しています。

最後に、学校、同窓会の皆様の永年のご協力に御礼と感謝を申し上げます。そして本年の定時総会をもって会長職を退任することに致しました。ありがとうございました。感謝！

塩釜高校同窓会に寄せて

本郷美代子・三浦知津子（昭和42年度卒業）

みな様こんにちは、私達はまだ宮城県塩釜女子高等学校と呼ばれていた時代の昭和四十二年三月の卒業生です。あれからもう五十六年も過ぎたのですね。

子供の入学式で偶然昔の体操部仲間と出会い、「暫くぶりでみんなでランチでもしませんか？」という会話を切っ掛けに年に一度の一泊二日の旅行もするようになりました。現在も進行形です。

女子高の仲間は三年間在籍していた部活動の体操部です。器械体操と団体徒手体操が一緒でした。私達同学年は、全員で六名です。最初は二台の車に別れて同乗し、一泊旅行で近くの秋保温泉でした。最近は列車の旅に切り替えました。

観光しながらとは言え誰も景色など見ずに列車に乗っても降りても宿に着いても食事中もずうっとおしゃべりは尽きないのです。この年になっても、あの時に戻れる不思議な時間を共有しています。

高体連の結果は全く誇れるものではありませんでしたが、八十才に近い年齢になっても六名全員が元気で楽しい時間を過ごし会えるのはあの三年間の練習の継続があればこそと自負しています。

峯岸先生には大変お世話になりました。ご迷惑もたくさんおかけ致しました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

令和七年度県総体壮行式について

今年も五月十六日、県総体に参加する部活動の士気を鼓舞し、学校全体として応援することを目的に開催され、私も応援に参加した。

まず、はじめに男子バレー部、女子バレー部等、次々と決意発表が壇上にて続いた。

そして水泳部の時、順番待ちで控えている時はTシャツを着ていたが、司会より登壇を促されると、突然全員がTシャツを脱いで、四人で一人の部員を高く担ぎ上げ、担がれた部員は空中で手足をバタつかせて、いかにも泳いでいる形で登壇し、決意を述べた。

降壇時も同じように空中遊泳を見せてくれた、アイデア溢れるパフォーマンスに体育館は大きな拍手と笑い声に包まれた楽しい発表だった。

私も恒例の「フレー、フレー、塩校」と声高くエールを贈った。全校一丸となって嬉しく楽しい壮行式でした。

ガンバレ！

（菊地）

収支決算書

自 令和6年4月1日～ 至 令和7年3月31日　　宮城県塩釜高等学校同窓会（単位：円）

収入の部 科目	予算	実績	備考	支出の部 科目	予算	実績	備考
経常収入	2,205,100	2,196,983		経常支出	2,628,000	3,026,010	
会費収入	2,205,000	2,207,000	1年生320人 2年生314人 3年生299人	会議費	20,000	20,463	総会費、理事会、委員会
事業収入	0	0		広報費	200,000	143,880	同窓会ホームページ維持管理費
広告収入	0	0		後援費	150,000	145,000	大会参加後援・東京同窓会助成
受取利息	100	1,733	普通預金利息	記念品費	300,000	306,690	
雑収入	0	0		印刷費	200,000	173,415	同窓会会報
会費返金	0	△11,750		通信費	20,000	29,816	会議案内・総会資料郵送料
				支払手数料	3,000	0	振込手数料
				消耗品費	5,000	0	
				旅費交通費	0	0	
				交際費	0	0	
				慶弔費	10,000	0	
				母校助成費	1,400,000	1,600,746	各部への助成
				負担金	5,000	6,000	県産業教育振興協会
				特別積立金	300,000	600,000	
				雑費	15,000	0	
前期繰越金	3,679,225	3,679,225		次期繰越金	3,256,325	2,850,198	
合計	5,884,325	5,876,208		合計	5,884,325	5,876,208	

教頭先生紹介

本年度の教頭先生をご紹介します。

○東キャンパス
大槻賢一先生

○西キャンパス
鈴木達也先生

です。

編集後記

塩釜女子高を卒業し、通勤中に母校の制服姿を見ることで時代の移り変わりを感じていました。

そんな中、昨年知人に誘われ同窓会へ携わることになりました。不安もありましたが、活動へ参加するにつれ昔を思い出され嬉しさに変りました。今後も活動を通し多くの方とつながっていけたらと思います。

最後に協力いただきました皆様ありがとうございました。

平塚　愛理

◇編集に携わった人

広報委員長・佐藤　理
委　員・佐藤政栄門
・伊藤　博章
・山中　由美
・櫻井　直樹
・平塚　愛理

ご挨拶

塩釜高等学校
校長　根岸一成（ねぎし かずなり）

日頃より塩釜高校同窓会の皆様には、本校教育活動に対しまして多大なるご支援とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

同窓会の皆様からは、昨年度も本校部活動支援の助成金として、多大なるご厚志を賜りましたことこの場をお借りして厚く御礼を申し上げますとともに、同窓生のご期待に沿えるよう一同さらなる努力を重ねて参る所存です。今後とも変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

令和7年度人事異動によりまして4月1日、新たに15名の教職員を、4月8日には新入生320名を迎え、塩釜高校の教育活動が力強く始動いたしました。

また5月7日には、昨年度に引き続き、同窓会長の菊地忠夫様をはじめ副会長の皆様にもご参列していただき、県高校総体壮行式を盛大に開催することができました。菊地会長からは激励の言葉をいただき本当にありがとうございます。今後とも毎日の教育活動を着実に積み重ねながら、塩高祭や体育祭などの学校行事を、同窓会の皆様とともにこれまで以上に盛り上げていきたいと願っております。

また、昨年度末には、同窓会からご支援をいただき、塩釜高校生念願の応援歌が誕生しました。これまで、校歌以外に学校歌がなかったことから、生徒たちの要望を受ける形で、作詞を文芸部員が心を込めて担当し、作曲を数多くの作品を手がけている内藤淳一先生に依頼しまして、待望の応援歌をお披露目することができました。

さて、本校は統合後16年目を迎えましたが、次年度から本校が「普通科1学級減」となる高校再編計画が県教委から公表されました。今後もますます変転する社会の中で、現在の東西2キャンパス体制が、令和10年4月からは西キャンパスのみの「1キャンパス」へと移行する計画が決定しております。今後も本校が魅力と信頼を兼ね備えた伝統校として、本地域における社会的役割を発揮していかなければなりません。

その意味で、本校は大きな岐路に立っており、本校がスクール・ミッションとして掲げる「地域との協働を一層充実させ、地域を支える人づくりを行うとともに地域活性化の拠点となる学校」という理念を高く掲げながら、地域に信頼され、愛される学校として存続していくための探究学習、進路実現、部活動、学科の魅力を強化していく所存です。

そのためにも、今後とも同窓会の皆様との連携をさらに密にしながら、本地域にとってなくてはならない学校としての"輝き"を発揮しつづける学校となるべく、一層のチャレンジを展開してまいる所存です。

今後ともなお一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げる次第です。

塩釜桜

矢巻一恵（　年度卒業）

私が塩釜高校を卒業したのは今から三十一年前の「女子高」時代。

多賀城から通う私は、学校行事で塩竈神社を訪れることが何より新鮮で、特に桜の季節が印象的でした。神社では授業の時間に花見をしたり春の風景を写生するなど、多感な時期を仲間と笑い合う時間はどれも良い思い出です。

天然記念物の塩竈桜を知ったのも入学してからで、ふわふわしたピンクの八重の桜は華やかで可憐らしく、この桜が刻まれた校章をつけた私たちが誇らしく思えました。

塩竈桜は平安時代には存在しており一度絶えてしまったそうです。ですが保存会の人々の努力で奇跡的に蘇るというエピソードは、人生の中で何度も再生し支え合ってきた私たちの絆と生命力の象徴でもあります。

卒業しそれぞれの道を歩む中で、家族や地域を大切にし続ける仲間たち。その姿勢は、私にとっても誇りです。塩釜高校で育んだ友情と誠実さは私の支えとなり、未来へと力強く進むための原動力となっています。

これからもこの縁に感謝しながら、笑顔を絶やさず歩んでいきたいと願っています。

令和六年度 卒業生の思い

高校生活三年間の思い出

柿崎　翔太

高校生活の三年間は、私にとってかけがえのない思い出が詰まった時間でした。入学当初は不安でしたが、友達と過ごす中で絆が深まりました。

文化祭や体育祭では、みんなで力を合わせて成功した時が特に印象的です。また、授業の合間に友達と笑い合ったり、放課後の部活動での挑戦も忘れられません。

勉強の合間に感じた青春は、今でも心に残っています。これらの経験は、私の人生の大切な一部となりました。

後輩へ伝えたいこと

石川　謙斗

私は三年間サッカー部として活動しました。でもある問題がありました。それは一・二年生の入部希望がないことです。

たしかに部活は大変なことばかりですがそれ以上に成長できることがあります。友達と同じ目標に向かって一致団結してのぞめるのは高校が最後かもしれない人もいます。

部活などの伝統を次の学年までつないでほしいので勉強やほかのことで忙しいと思いますが、どうか部活に入ってもらって仲間と一緒に頑張ってもらいたいです。

高校生活三年間の思い出

西崎　倖汰

私の高校三年間での一番の思い出は、文化祭です。私は二・三年生の時の文化祭が部活動の大会と被っていたため、三年生の時に最初で最後の文化祭を経験しました。当日はチュロスの出店を行い、たくさんの人に買ってもらったため、全て売り切ることができました。ステージ発表では、ダンス部のキレのあるダンスや吹奏楽部の心地良い演奏を見ることができてとても楽しかったです。

私はこの文化祭での思い出を忘れずに、新生活を送っていこうと思います。

後輩(在校生)へ伝えたいこと

武藤　一晴

私から後輩に伝えたいことは、時間を大切に使うことです。

高校生活の時間は意外とあっという間に過ぎます。後悔しない選択をするためにも、遊び、学校行事、テスト勉強や進路の実現に向けて全力で取り組んでください。

小さな時間でも積み重ねることで大きな力になります。

バランスよく有効的な時間を使ってください。

後輩へ伝えたいこと

相澤　柊太

私が後輩の方々に伝えたいことは、思い出を作ったほうが良いということです。特に友達と話す時間はある程度多いほうが良いと思います。

私がおすすめしたいのは散歩です。てきとうに話しながら、行きたい道を歩くだけです。季節によっては厳しい時もありますが、お金もかからないし、行ったことのない道はいくらでもあるので、ずっとできます。ぜひやってみてください。

後輩に伝えたいこと

今野　愛梨

私が後輩の皆さんに伝えたいことは高校生活一日一日を大切に過ごして欲しいということです。

そんなことは分かっていると皆さん思っていると思いますが、もう一度改めて伝えたいです。卒業までのカウントダウンをクラスで始めてまだあと一ケ月以上あると思っていたのが、あっという間に卒業まで十日を切ります。もう二度とないその日を友達と全力で楽しんでください。

皆さん悔いのない高校生活を送れることを願っています。

三年間の思い出

柘植　寧音

私が三年間で一番思い出に残っていることは「ドッキリGP」です。三年生の六月に出演が決まり、そこからスタッフさんと話し合い、より楽しいものにしようと頑張ってきました。

生徒会長になってから辛いことや大変なことがありましたが本番はみんなが笑顔になれ、今本当に努力してきたことが報われた気がしました。

番組の放送が終わった後も、みんなに楽しかった、おもしろかったと言われてとても思い出に残りました。この塩釜高校に入ったことでしか経験できないことをたくさん経験できて、塩釜高校に入ってよかったと思います。

後輩のみなさんも、これから充実した学校生活を送って、生涯の思い出にしてください。応援しています。

後輩に伝えたいこと

柴田　湧司

私は皆さんに伝えたいことがあります。それは、どんなに遅くてもやりたいことにチャレンジしてほしいということです。

私は、三年になる少し前に進路を変えました。前に目指していた分野とは全く異なるため、進路に向けての準備はもちろん高校を卒業し、進路先に向かったあとも大変だと思います。

しかし、私はこの進路先に後悔はしていません。そのため、皆さんもやってみたいと思ったことは今からでもチャレンジしてみてください。やって後悔してもしなくても必ず何かに活かせると思います。私は皆さんとは関わりがなくこのメッセージで影響を与えることができないかもしれませんが、応援しています。

三学年の思い出

日塔　るな

私が高校生活で思い出に残っていることは文化祭と体育祭です。まず、文化祭は3年生の時にクラスの人と一緒に一人一色違いのTシャツとサンバイザーを買い、2日目に着て楽しみました。そのあとクラスの仲良い人と一緒に焼き肉を食べて楽しい一日になりました。体育祭ではたくさんかわいくして競技も全力で取り組みました。

他クラスから批判をあびることもあったけど、全員で一致団結して総合優勝しました！とっても嬉しかったし過去一楽しいクラスでした。

みなさんも高校生活悔いのないように頑張ってください。

後輩(在校生)に伝えたいこと

齊田　望来

皆さんに伝えたいことは、何でも挑戦してほしいということです。

私は、生徒会、アルバイト、受験など高校生活でできる挑戦はやりつくしたと思っています。もちろん失敗も成功もあります。最初の一歩は怖くて仕方ないかもしれません。でも成功しても失敗しても経験は皆さんの中に残ります。

たとえ失敗しても、勇気を出して踏み出したことに諦めないでやりきったことに自信を持って欲しい。きっとあなたを支えてくれる糧になります。

後輩に伝えたいこと

赤間　想運

私が後輩に伝えたいことは、部活の大切さです。部室に入ると「おはよう」と当たり前に聞こえる、学年関係なく仲良しな温かい音楽部です。部活の大好きなみんなに会うために学校に行っていました。三年生になって引退が近づくにつれて、色々な感情が大きくなり、改めて部活の大切さに気付きました。

だから、これから沢山の時間があるみんなには、部活に行って最高な思い出を全力で作って欲しいと思っています。後悔のないように残りの学校生活を楽しんでください。